



香葉

第12号

通算43号

関東学院女子短期大学

香葉会

発行人 山口佳子

代表 横浜市金沢区

六浦東1-50-1

直通・FAX 045-787-0678

E-mail: kouyoukai@nifty.com

URL http://koyokai.shonan.cc

香葉会の皆様へ

燦葉会支部総会に参加しませんか？ここ数年燦葉会の各支部の総会案内が届いた方もいらっしゃると思います。ご主人が学部出身者の方も多いため、学生時代の仲間も沢山いると思います。ぜひ参加してみませんか？

また、当日の様子をぜひ寄稿ください。「香葉」誌上やホームページでご紹介します。

※各企画は香葉会事務局（上記参照）にてFAX・往復はがき・Eメールにてお申し込み下さい。

交流会（室の木に集まって！）

今年からの新しい試みとして、アドベントの前にクリスマスソングを歌いましょう！

懐かしい讃美歌の中からクリスマスの曲を選んで、みんなで楽しく過ごしましょう！

●日時 2014年11月29日（土）13：00～15：00

●集合場所 HPをご覧ください

●会費 1,000円（茶話会含む） ●メ 切 11月20日（木）

学校探検ツアー（ガイド 山口佳子（国1））

2回目となります学校の見学会です。今年も金沢八景キャンパス（室の木）です。お子さん・お孫さんを連れてのご参加もお待ちしております。大学学食での美味しい昼食も一緒に楽しみましょう。

●日時 2014年10月25日（土）10：00

●集合場所 人間環境学部 正門前

●参加費 1000円（資料・保険・昼食代込み）

●メ 切 10月18日（土）

ビーズ講習会（講師 高石和枝（国4））

昨年のアクセサリが好評でしたので今年も新たにオリジナルのアクセサリを制作します。ビーズの美しい輝きを皆さんと共に作りましょう。

●日時 2015年1月24日（土）
13：00～16：00

●場所 香葉会室

●参加費 3,000円

●持ち物 糸切はさみ、眼鏡（必要な方）

●メ 切 12月10日（水）（先着10名）



昨年の作品です

クリスマス小物づくり講習会

昨年はかわいいクマとハートのオーナメントを作成しました。今年はマカロニのクリスマスリースを作ります。

●日時 2014年11月12日（水）
10：00

●場所 香葉会室

●参加費 1,000円（材料費等）

●持ち物 エプロン・タオル

●メ 切 10月30日（木）



第6回 香葉賞

人間環境学部四学科4名の卒業生に3月24日（月）謝恩会にて香葉賞（賞状・記念品）を授与致しました。今年は4名とも女性選ばれました。



朗読会御案内

国文科1回卒の中村啓子さんが『星野富弘詩の朗読』を金沢文庫キャンパスで行います。

●日時 2014年11月4日（火）10：40～12：10

山手西洋館散策（ガイド 精木 勇（元短大講師））

今年も、山手のクリスマスを楽しみましょう！

夕方山下公園から横浜駅東口への夕焼けを見ながらのクルーズ（希望者）も予定しています。

時間によっては夜景になる可能性も…！



●日時 2014年12月6日（土）13：00～16：00

山下公園～横浜駅東口クルーズ 16時頃乗船予定

●場所 元町公園バス停前（エリスマン亭前）

●参加費 1,000円（資料・保険代等）

●メ 切 11月29日（土）

会長挨拶

山口

佳子(国1回)



皆様こんにちは。それぞれにお忙しい日々をお過ごしと思います。

先日心に響いた言葉があります。置かれた場所で咲きなさい。というノートルダム清心のシスター渡邊和子さんの言葉でした。短大改組から十二年の時光たち、短大で学んだ卒業生も社会での経験が豊かな年齢となりました。教鞭をお取りいただいた先生方も短大に心を残しながら、それぞれの生き方をしていると思います。

大学としての教育の在り方も現在、または近未来に必要とされる事へと集約されています。短大が改組により人間環境学部となり、さらにその持つ特徴を生かして人間環境学部、教育学部、栄養学部という三つの学部となります。社会から求められていることを充足できる充実した教育を行うことが大学としての使命であると思います。変わっていくことの大切さをこの十二年で目の当た



りにしています。置かれた場所をどう生かしていくのか重要な課題です。また、学生や教師、卒業生での東日本大震災復興支援ボランティアプロジェクトが今年も組まれ、南三陸志津川・中瀬町で活動いたします。活動への支援にご協力をいただければ幸いです。

さて、今年も学校を見ていただく学校探検ツアーを行います。大学工学部に新しい校舎ができました。新学部にあわせて建築環境を学ぶ場、学生にとっては生きた教材となる校舎です。五階建ての洗練されたデザインです。

好評のビーズ講習会をまた他にも、室の木に集まってと題した交流会を行います。また定番となりました山手西洋館散策の帰りは夕暮れの山下埠頭から横浜へ船にのり海から山手の町を眺めるコースといたしました。香葉会が発信する活動が、卒業生にとって学校を誇りとする事ができるような学校であることを知っていただく一助になればと思って居ます。

ぜひ香葉会企画でお会いしましょう！

燦葉会 支部会案内

湘南支部 9月21日(日)

16時〜 グランドホテル湘南

西湘小田原支部 9月27日(土)

13時30分〜 小田原キャンパス

県央支部 11月22日(土)

18時〜 上海菜館

お問い合わせは 燦葉会事務局

045 (784) 0310

人間環境学部の今とこれから

人間環境学部 学部長

山田 哲雄



香葉会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は、人間環境学部で学部長を務めており

ます山田と申します。人間環境学部は、ご承知のとおり関東学院女子短期大学を発展的に改組転換して二〇〇二年四月に誕生した学部ですが、今年で開設以来十三年目に入っています。来年三月には十期生が卒業を迎え、卒業生の総数も五千名を数えることとなります。昨年十一月十日に行われた「関東学院女子短期大学改組十周年の会」でお話した「人間環境学部の今とこれから」について、「香葉」第十二号でお知らせできればと思います。



人間環境学部は、人間環境を単に自然環境だけでなく、生活環境、社会環境、文化環境、さらには、人と人とのコミュニケーションやネットワークを含む概念と位置づけています。本学部の前身は関東学院女子短期大学(英文科、国文科、家政科(家政・生活文化・食物栄養の三専攻)、幼児教育科、経営情報科)であり、人間と環境に関する様々な実績と資源が蓄積されてきました。二〇〇七年には、ISO14001の認証を

得ることができました。さて、世の中の変化はこれまで以上に速くなっています。人間環境学部もまた、さらなる発展を目指して改組を行うことになりました。二〇一五年度には健康栄養学科から栄養学部への、人間発達学科から教育学部への改組が行われます。また、現代コミュニケーション学科と人間環境デザイン学科についても、今後に向けての検討が行われています。二〇一三年四月には看護学部看

護学科が室の木校地に開設され、新棟ができて健康栄養学科が一号館から新棟に移りました。室の木校地全体の再配置計画の検討もまた進んでいます。室の木校地は現在もなお日々発展を遂げていますが、その根底には女子短大の伝統が脈々と受け継がれています。写真は女子短大卒業生寄贈の時計台で、室の木校地の中庭で時を刻み続けています。勉学に励む後輩にエールを送っていただけますと、誠に幸甚です。

Once in a Lifetime / 一期一会

柳下 節子 (英13回)

現在私は奉仕団体ロータリークラブ(横浜・川崎地区)に所属しています。

その中に委員会があり私達の委員会は名称平和センターで現在五名の構成です。三名が関東学院出身でその中二名柳下節子(英文科)、高梨能理子(幼児教育科)は香葉会の会員です。



委員会の役割は国際基督教大学の修士課程一年生二名、二年生二名計四名の留学生のカウンセラーを二年間致します。国際理解と世界平和を推進する為に設立されたロータリー平和センター修士号習得プログラムで提携大学は東洋では国際基督教大学のみで、世界各国(アメリカ、タイ、ベネズエラ、オーストラリア、フィリピン、イギリス、ギリシャ、イタリア、ロシア、スウェーデン等)から、毎年十名程の留学生が来日します。

私の担当する留学生は「ラオスの村落開発プロジェクトにおける総幸福量の統合に関する研究」をテーマで修士号を習得し現在母国タイで国際理解のため活躍しています。

高梨能理子さんは現在修士一年生のギリシャからの若き女性弁護士の担当をしています。彼女の専修分野は平和研究、研究テーマは「ギリシャ金融危機と外国人排斥の増加」で勉強中です。

この春、大本山川崎大師平間寺で川崎大師ご供茶式とお茶会に留学生が日本伝統文化に接する機会を頂き、留学生数名と参加致しました。川崎大師では歓迎を受け、裏千家千玄室大宗匠からは直接お声掛けを頂きました。大本堂で行われたご供茶式では読経が響き渡る中、大本堂内陣のお

点前座において裏千家千玄室大宗匠の厳かなご供茶の儀での流麗なお点前に魅入りました。留学生達はご供茶式の儀、その雰囲気に変感動をうけました。各自のキャリアや社会生活を通じて、世界平和に大きく貢献できる能力を備えた留学生が日本の伝統文化を経験する事は大きな意味があります。

私達委員会最大の願いは日本から世界の提供大学へ留学生を多く派遣し日本のみならず世界での活躍を期待することです。

卒業生通信 I

子育て奮闘記

『おてんば娘成長中!』

齋藤 恵 (経情10回)

「女性の人生には日常生活がガラリと変わるタイミングが何度かある」という話を聞いた事がある。若い時は「ふーん」と聞き流していたものだが、一年前、最も大きなタイミングを迎えた。「出産」である。噂には聞いていたが、

ここまで自分の日常生活がガラリと変わり、振り回される毎日が待っていた。それは：妊娠後期の胎動を感じていたあのゆったりとした幸福な時間はどこへ…。いくつかの試練を乗り越えて、ようやく授かった大切な大切な命。緊急帝王切開だったにも関わらず、先生も驚くような大きな産声を上げて産まれてきた天使のような我が子。初めてこの腕に抱いた時の重みとぬくもり。「人生でこんなにも素晴らしい幸福なことがあるなんて!」と感動したものだ。そしてそれは同時に長い長い育児ライフのスタートでもあった。

産まれてすぐの頃は、何をしても泣き止まずに一睡もできない夜が何度あった。



度があった。今は昼なのか夜なのかさえも分からない毎日。経験したことのない寝不足と疲労感。何より初めての育児で不安もいっぱい。母親として未熟な自分を何度も攻めては落ち込んで…それでもニコッと笑ってくれるとすべてが吹っ飛んでしまう不思議。(あれは魔法だと今でも思う。)

ある時「育児は育自」という言葉を誰かに言われたのを思い出した。そう、私だって娘が産まれて初めて母親になった新米ママ。出来ないことがあるのは当たり前。二人でゆっくり成長して行けばいいんだと思っただけ、肩の力が抜けて心が楽になったのを覚えている。それでもやっぱりイライラしたり、泣いたり、笑ったり、毎日バタバタと過ぎて行き、あつという間に娘は一歳になった。両親の心配をよそに、元気で健康で、物おじしない、ちよっと(いや、かなり!)アクティブなおてんば娘に成長した。花がばあつと咲いたように笑う、太陽のような娘。彼女の人生が笑顔で溢れたものになるように、まだまだ未熟なママだけど頑張っただけ毎日一杯生きています!

関東学院女子短期大学

改組十周年の会報告

昨年十一月十日（日）ランドマーク五階『シェフズV』にて右記の記念会を開催致しました。

当日は理事長をはじめ、現・旧教職員や各同窓会からのご来賓もご参加頂き、開催する事ができました。

「短大の歩みと今」と題し、山口会長より思い出の映像を見つつ、今に至るまでの話を聞きました。また、グリークラブOBの合唱も楽しみ、男性陣の登場に短大の女性陣は大いに盛り上がりました。

短い時間でしたが、皆様のご協力とご奉仕に感謝いたします。

改組十周年の会に出演して

グリークラブ事務局長 高橋 悌郎

改組十周年お目出とう御座いました。また、十周年記念の催しに出演させて頂き有難う御座いました。

我々グリークラブOBの中には学生の頃を思い出し、皆様とお会い出来ることを楽しみにしていました。思い違わず、皆様が学生時代と変わらないほどの若々しさにまだまだ負けは要られないというエネルギーを頂きました。演奏曲目選定では、幹事の方からのご希望もあり、学生時代に歌った曲と現在練習している曲などを選びました。無論学生時代とは違いが有ると思いますが、ハモニーなど如何でしたでしょうか。現在、グリークラブOB会は、以

下の様な活動をしています。

一、現役グリークラブの復活

二、大学にてチャペルコンサートの開催（本年度第四回目十二月五日（金）十七時より）

三、学院行事・燦葉会行事への積極的参画

四、地域活性化（福祉施設慰問、地域イベント参加）

五、来年グリークラブ創立八十五周年記念演奏会（中井先生を偲んで、山根先生「没二十年」）

等を計画し活動しておりますので、ご支援、賜りたくお待ち申し上げます。

今後香葉会の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

なお、グリークラブの活動情報は下記URLにて閲覧頂けます。

URL <http://www.scn-net.ne.jp/~coliver>

又は、「関東学院大学グリークラブOB会」でも検索できます。

改組十周年の会プログラム

賛美歌 405番
黙 祷 亡くなられた恩師へ
開 会
会長挨拶
来賓紹介
来賓挨拶
乾 杯
歓 談
短大の歩みと今
グリークラブOB会による合唱
関東学院が目指していること
短大への想い
天城山荘へのツアー説明
閉 会



十周年の会に導かれて

中島久里子（英専13回）

高校まで暗い生活をし、精神的な病のあった私にとって、関東学院女子短期大学入学はまるで天国のようでした。その入学も本当に不思議なもので、まさに神様が導いてくれたとしか言えないものでした。学園生活も勉強に部活と有意義で楽しいものでした。二年間があつという間に過ぎ、淋しすぎたので私は英文科の専攻科にもう一年残ることにしました。その三年目も終わり社会人になりました。その後、短大の同窓会に行きたいと思っていましたが機会がなく、卒業してだいぶ経ってから大学と合同の「県央のつどい」というものに参加するようになりました。昨年、秋に「県央のつどい」に



行きました折に香葉会の方から十周年の会への参加を勧められ、短大の同窓会にいけることをうれしく思い参加することにしました。

年配の方がほとんどでしたが何よりうれしかったのは、英文科の恩師の加藤紀子先生に本当に久しぶりにお会いできたことでした。良くして頂いた思い出深い先生です。

今、思い出してみると英文科の先生は皆、良い先生方でした。その中で加藤先生にお会いできたことは良かったです。

この会には、また大学からも大勢参加されていました。いろいろな方からのお話もあり、大学のOB合唱団のコーラスも素晴らしいものでした。他にも懐かしい先生や久しぶりの方々にもお会いでき、短い時間でしたがとても有意義なひとときでした。

横浜桜木町の景色の良い所で行われました。参加してとても良かったので、またいつかこういう会がありましたら参加したいと思っています。皆さんも是非参加されてみてはいかがでしょうか。



参加者へのプレゼント（バラ）



天城山荘をたづねて

土屋 知里 (幼12回)



平成二十六年二月一日土曜日懐かしい天城山荘へ行ってきました。天城山荘は日本バプテスト連盟の施設ですが、実は誰でも泊まれる施設なんだそうです。

さて、企画の当日は、茅ヶ崎駅に集合し貸し切りのマイクロバスで一路伊豆へ。まだまだ寒い日でしたが、天気は上々でした。

まずはお決まりコースの浄蓮の滝へ。階段を下りて滝に近づいていくとなんと清々しい空気です。しばらくの散歩ののち、バスに乗って天城山荘に到着。

現地ではスタッフのみなさんがあたたかく迎えてくださり、懐かしい



お話までしていただきまして。チャペルは木の質感の感じられるとてもあたたか

い雰囲気。自然に囲まれた環境は静かで落ち着ける懐かしい場所でした。と、実は私が覚えていたのはここまでの、部屋を見ても庭を見ても当時の記憶は蘇らず、同級生にその場でメールしたのですが、どうやら私の記憶が一番乏しかったのでした。情けないやら申し訳ないやら。

ただ、もう一つだけ覚えていたのはおいしかった食事です。記憶に残るシナモンの香りのスライスされたかぼちゃ煮? リクエストしたわけではないのに、わざわざ用意してくださっていたのでした。もちろんみんなで食前の祈りを捧げ、あの頃のよううに料理を取り分けて全部おいしくいただきました。

帰りには伊豆月ヶ瀬梅林を歩きました。梅の花はまだ満開とは言えなかったものの、みんなでおしゃべりしながらのんびり散策。その後イチゴ狩りで大粒のいちごを食べきれないほど食べ、満開だった菜の花までも摘んで大満足の帰途でした。

もつと大勢で行かれればよかったのですが、香葉で案内が出来なかつ



たせいか、ちょっと少な目の参加者でした。でもきつともう一度行ってみたいと思つてらっしゃる方は沢山いると思うのでまた企画出来たらと思います。

『燦葉会西湘小田原支部・香葉会合同総会』に参加して

村岡 愛子 (家12回)

平成二十五年九月二十一日(土)小田原校地にて開催されました。本年の夏は格別の暑さ、まだまだ暑さの納まらない時でしたが、バスで下車、校地に入ると木々が育ち涼風が吹き、高台のため別天地のようでした。香葉会の方々と十年前前にここに出来たての法学部校地を一度訪問しました。その時のキャンパスの環境の良さがそのまま保たれておりました。

総会には二十五名位の出席者。二十四年度事業報告等プログラム通りの進行。増田理事長の話もあり、その後懇親会へと移りました。

もともと、この会の出発点は箱根マラソン応援ということで立ち上げられたとのこと。最近ではマラソンの活躍がいまいち：という悩みもあるようです。木村陸上競技部長の力強い、頼もしいお話もありました。出席された方々のなかに同年代に共通のキャンパスに通っていた方とお話が出来、楽しい・懐かしいひとときを持ちました。青春時代のあこがれの人の話にまで発展していったりで、若返った気分になりました。その当時はここら秘かに思っていたことが、五〇年も時が経つと良い思い出とし

て蘇りネタになり、ほぼ初対面であっても話が出来ること。これが学生時代の思い出の『たからもの』だと思いました。二年間貴重な体験をして勉学に勤しむことが出来感謝です。この会の益々の発展を楽しみにしています。お世話下さった幹事さんありがとうございました。



編集後記

改組十周年の会には皆様のご協力ありがとうございました。これから学校と皆様とを結ぶ懸け橋として精進していきたいと思ひます。編集委員に新メンバーも加わった『香葉』十二号如何でしたか? 皆様からのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。又「エッセイ・俳句等」などの投稿もお待ちしております。これからも色々な企画を考えていきたいと思ひます。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。香葉会は「あなた」と共に歩んでいきたいと思ひます。(お)

卒業生通信Ⅱ

沖野 啓子 (国1回)

スケジュール表には、毎月予定が次々に書きこまれていく。そんな忙しい生活が、ここ数年は続いています。それは、シニア向けの情報アドバイザーの資格を取ったのがきっかけとなりました。「シニアネットひろしま」というグループに所属し、パソコン講座の講師やサポートをすること。公民館のパソコン自習室などでアドバイスをすること。パソコンに係るいろんな事が、生活の中の大きな部分を占めることになりました。家にいても、ホームページ・ブログ・Facebookと、パソコンに向かう時間は、大切なもの。ここまでのめり込むとは思わなかったのですが、夢中になってやっています。自分が知って役に立ち、楽しかったことを少しでも皆さんの役に立てられれば、うれしいことよね。

それでも、まだまだ時間は、たっぷりあります。国文科の授業で関わった書道も継続しています。毎月の教室通いと年一回の公民館祭には、条幅の作品を提出することを課して頑張っています。継続と言えば、本を読むことは、大切なひと時。最近、図書館に予約して本を借りることで、限られた時間内に読むようになりました。話題の本が、すぐに読めないのが、残念なのですが、最後に、夫と共に熱中する趣味として「囲碁」を始めました。グループの

中では全くの初心者なので、勝ち負けは別として、大局を見るというものの見方が勉強になっています。あちこち転動して歩いた生活が一段落した今、地域の活動に積極的に参加しながら、これからを楽しんで行きたいと思っています

学校探検ツアー

関東学院の「今」に参加して

矢守 光子 (国31回)

平成二十五年十月十二日。とても風が強い日でした。私は、香葉会の「学校探検ツアー」に参加し、懐しい関東学院の校舎を目にしました。私は、何年か前に短大はなくなつたという話を耳にしたので、以前の校舎がそのままあるのに感激しました。人間環境学部として生まれかわつたとの事ですが、当時の良いところがそのまま残っていました。関



東学院六浦こども園と新しくできた看護学部を見学しました。六浦こども園はステンドグラスがとてもきれいで、ハンモックなどの遊び道具が充実していました。(ハン

モックは、大人の私がのつても大丈夫でした。他の香葉会のメンバーものつてました。)このような環境で、子供はきっと楽しく生き生きと遊ぶ事でしょう。

次に新しくできた看護学部を見学しました。私は、関東学院大学に看護学部ができたというのでとても興味がありました。実際に見た看護学部の実習室の設備がきれいでびっくりしました。先生方の説明も興味深かったです。

一通り大学構内を見学した後、最後に参加した香葉会のメンバーで大学内の学食を食べました。魚のランチですが、とてもおいしかったです。私は短大時代に学食はよく利用しましたが、おいしい学食と共に当時の楽しい思い出もよみがえりました。

後日、クリスマス小物講習会や日本画講習会に参加させていただきました。先生や香葉会の先輩に教えてもらって、手先が不器用な私でも何とかできました。香葉会の人たちとお話もとても楽しかったです。またこのような機会があったら、ぜひ参加したいです。

最後に関東学院大学の未来と、香葉会の今後がますます発展するよう祈ります。

山手西洋館散策

蜂谷 弘子 (国2回)

たくさんさんの明治時代の建物があり、西洋館は山の上、下は海。明治という時代に、開国という問題を解決した先人たちの生き方が残されています。

す。

私は毎年、西洋館散策に参加しています。十二月七日(土)十時、暖かな小春日和。菊が咲いている満ち足りた日。風もなく、紅葉で満たされた道に、旧友と往年美人の方々と、古えの建築。外交官の家は東京都内から移築され、横浜市で保管されています。庭園の花と植込み等、手入れが行き届き気持ちよく過ごせます。

一九四七(昭和二十二)年―一九五〇(昭和二十五)年、横浜の港から朝六時の汽笛が浜一帯に聞こえ、目覚ましの合図でした。もし、この汽笛をご存じの方がいらつしやいましたら、お会いしたいですね。

名所・旧跡としての散歩道が整備され、維持され、これからの皆さんに先人が築き上げたものを受け継げるように祈ります。

香葉会の企画(散策や講習会)に大勢の卒業生が参加されますように祈ります。



まずは、毎回恒例の一人一人の近況報告をしました。あの頃と違い、今は各自がそれぞれの仕事、家庭、様々な場で違う道を歩んでいます。うれしかったこと、悲しかったこと、



「元気の交換」

片山 幸子（幼14回）

私たち、関東学院女子短期大学幼児教育科昭和六十三年卒業のAクラスでは、昨年十一月に三回目となる同窓会を行いました。五年ぶりの再会でした。担任の中田弘良先生が、出席者を名簿を見ずに顔だけ見て名前を読上げる、うれしいサプライズで始まりました。

中田先生の近況は、スキー、テニスの面ではストレスは作るも撃退するも自分の心持一つなので、絶対負けはないですね。と人生の大先輩からの話でした。そして手先の器用な先生は、色とりどりの紙で折った三角形や五角形のかわいい小箱を私たちにくださいました。一つ一つがデザインが違っていて、選ぶ時はすっかり童心に返り、わいわいと賑やかに盛り上がりました。

今回の再会はとても充実した時間でした。久々に会えた喜び、次回も元気に会う約束、今日感じた温かな想いをそっと小箱に入れて各自、持ち帰りました。

今回参加できなかった皆さん、お元氣ですか。お体を大切にしてくださいね。いつかみんなで会える時を楽しみにしています。



香葉会 年会費・賛助金 納入者名簿

皆様のご厚意により、平成25年度（平成25年4月1日～平成26年3月31日）のご寄付は675,000円と成りました。

香葉会の会費の一部として有効に使わせて頂きます。皆様のご協力に感謝し、今後ともよろしくお願い申し上げます。（敬称略・順不同）

収入の部	H25年度決算	H26年度予算
年会費・賛助金	675,000	600,000
特別会計繰入金	2,500,000	1,500,000
香葉発行準備金	—	500,000
特別基金Ⅰ繰入金	0	50,000
特別基金Ⅱ繰入金	500,000	—
雑収入	14,197	20,000
前年度繰越金	354,999	841,377
合計	4,044,196	3,511,377
支出の部	H25年度決算	H26年度予算
通信費	1,440,659	1,600,000
印刷費	674,499	700,000
広報費	0	30,000
企画・会合費	73,128	100,000
交通費	157,210	200,000
消耗品費	8,093	20,000
ソフト費	0	20,000
人件費	341,880	400,000
香葉賞費	37,111	50,000
関東学院同窓会費	30,000	30,000
十周年事業費	296,813	—
慶弔費	89,615	100,000
雑費	31,831	70,000
予備費	21,980	191,377
小計	3,202,819	—
次年度繰越金	841,377	—
合計	4,044,196	3,511,377

関東学院女子短期大学香葉会

収入の部	H25年度決算	H26年度予算
年会費・賛助金	675,000	600,000
特別会計繰入金	2,500,000	1,500,000
香葉発行準備金	—	500,000
特別基金Ⅰ繰入金	0	50,000
特別基金Ⅱ繰入金	500,000	—
雑収入	14,197	20,000
前年度繰越金	354,999	841,377
合計	4,044,196	3,511,377
支出の部	H25年度決算	H26年度予算
通信費	1,440,659	1,600,000
印刷費	674,499	700,000
広報費	0	30,000
企画・会合費	73,128	100,000
交通費	157,210	200,000
消耗品費	8,093	20,000
ソフト費	0	20,000
人件費	341,880	400,000
香葉賞費	37,111	50,000
関東学院同窓会費	30,000	30,000
十周年事業費	296,813	—
慶弔費	89,615	100,000
雑費	31,831	70,000
予備費	21,980	191,377
小計	3,202,819	—
次年度繰越金	841,377	—
合計	4,044,196	3,511,377

平成十五年三月の卒業生の会費を最後に、香葉会の会計は皆様の年会費・賛助金をたよりに頑張っています。年間にかかる費用の多くは、機関紙「香葉」の発送にかかります。年会費・賛助金に是非、ご協力をお願い致します。

平成二十五年度決算・平成二十六年予算